

日本ナシ「加賀しずく」 における主枝先端新梢の伸長法

「加賀しずく」は、16年の歳月をかけて育成され、平成28年に品種登録された石川県オリジナルの日本ナシの新品種です。ジューシーで、酸味がなく上品な甘さと、滑らかでありながらシャリ感も感じられるといった、優れた特徴を有しており、1個あたりの重さが600グラム程度と大玉です(写真1)。しかし、頂部優勢性が弱く、主枝先端新梢が伸びにくいいため、樹冠拡大に年数を要し、その対応が求められています。そこで石川県農林総合研究センター農業試験場では、管理作業の支障とならない誘引器具等を用いた主枝先端新梢の伸長法を開発したので紹介します。



写真1 加賀しずく

(石川県農林総合研究センター提供)

☆技術の概要

1. 曲げた鉄パイプと園芸用支柱を組み合わせた誘引器具を平棚の上に設置し、新梢を誘引する「器具誘引」と、防鳥網から棚まで誘引ヒモを張り、新梢を誘引する「張りヒモ誘引」の2つの誘引方法を開発しました(図1)。
2. いずれの誘引方法も、新梢伸長効果があり、誘引しないものに対し、器具誘引で1.8倍、張りヒモ誘引で1.5倍長くなります(図2)。
3. 器具誘引は、器具の作成に約2分、250円程度かかりますが、防鳥網のない園でも使用できます。
4. 張りヒモ誘引は、防鳥網がある園で設置が可能です、設置には脚立が必要ですが、費用が2円程度と安価です。

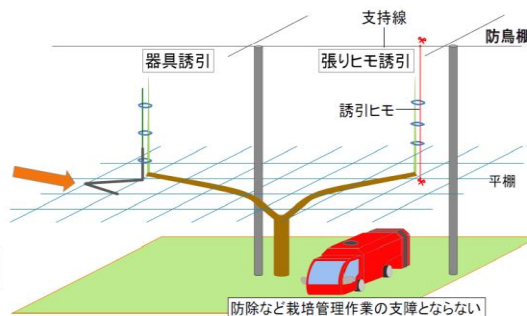


図1 器具誘引およびヒモ誘引の設置イメージ

図中の赤矢印線は棚に固定する部分と枝を固定する部分を示す。

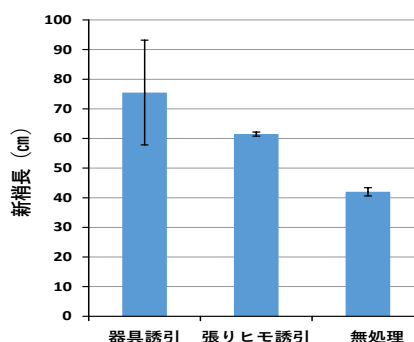


図2 誘引方法の違いが新梢長に及ぼす影響

図中の縦棒は、標準偏差を示す。

☆活用面での留意点

1. 本成果は石川県農林総合研究センターがとりまとめた石川県農林水産成果集第21号(2019年)に掲載された成果で、当センターより許可を得て本文や図を転載しています。詳細は、当センター農業試験場育種栽培研究部園芸栽培グループ(TEL:076-257-6911)にお問い合わせください。
2. 本技術は、他の日本ナシ品種でも利用できます。
3. いずれの誘引方法も、1か所あたり1分程度で設置できます。